

相撲伝統と発展を議論

有識者会議が初会合

日本相撲協会が設置した八角理事長(元横綱北勝海)の諮問機関「大相撲の継承発展を考える有識者会議」(委員長 山内昌之・東大名誉教授)の第1回会合が21日、両国国技館で開かれ、8人の委員が日本の伝統文化でもある大相撲の将来に向けて意見交換を行った。

3か月に1回程度予定される会合や本場所、稽古場見学などの活動を通じ、来秋をめどに八角理事長への提言をとりまとめる。

元横綱日馬富士関による傷害事件などの不祥事を受け、昨年10月、第三者委員会の「暴力問題再発防止検討

稽古見学し将来像検討

大相撲の将来あるべき姿について議論する日本相撲協会の第三者機関「大相撲の継承発展を考える有識者会議」の初会合が21日、両国国技館で行われた。約2時間の会合後に記者会見した山内昌之委員長は、「大相撲が令和という新時代を迎えて、どのような形を取るのかは、大変重要。新しい時代にふさわしい伝統、伝統と調和した自己規律をどうするか」などと、検討するテーマについて説明した。



初会合を終え、記者会見する山内委員長(右は八角理事長)

「大相撲の継承発展を考える有識者会議」メンバー(敬称略)

| | |
|-----------|---------------|
| 【特別顧問】今井敬 | 経団連名誉会長 |
| 【委員長】山内昌之 | 歴史学者、東大名誉教授 |
| 阿刀田高 | 作家 |
| 王貞治 | プロ野球・ソフトバンク会長 |
| 松本白鸚 | 歌舞伎俳優 |
| 大谷剛彦 | 元最高裁判事 |
| 紺野美沙子 | 女優 |
| 但木敬一 | 弁護士、元検事総長 |



有識者会議に臨む(左から)王貞治氏、松本白鸚氏、山内昌之委員長、今井敬特別顧問ら(21日、両国国技館で)

委員会」が、外国出身力士への指導法や相撲部屋を越えた上下関係への対処について検討するよう相撲協会に要請。有識者会議はこれを受けて設置されたもので、プロ野球ソフトバンクの王貞治会長や歌舞伎俳優の松本白鸚氏ら、様々な分野の専門家が委員に招かれた。

有識者会議の議論のテーマは、①大相撲の国際化が進む中で相撲道の伝統を継承発展させるための提言②スポーツ庁が策定する「スポーツ団体ガバナンス(組織統治)コード」の趣旨を尊重しつつ、相撲道の伝統と調和した協会独自の自己規律指針を作成する③の2点。この日の会合では、相撲博物館の学芸員が相撲史について各委員に説明も行った。

会議後に記者会見した横綱審議委員でもある山内委員長は「神事、祭事が相撲の根幹で近代スポーツと異なる伝統。これを私個人としては継承したい」と基本姿勢を示し、「力士の多国籍化を踏まえ、新しい時代の相撲はどうあるべきかについて議論したい」と抱負を述べた。

朝日

大相撲の有識者会議が初会合 日本相撲協会の第三者委員會有識者会議」が21日、東京・国技館で初会合を開いた。大相撲の国際化が進む中、伝統をどう指導していくかなどの指針を提言するのが目的で、山内昌之委員長(東大名誉教授)は「スポーツとして求められるガバナンスコード(組織統治

規範)を尊重しながら、伝統と調和した協会独自の自己規律を検討する」と話した。来秋をめどに指針をまとめる予定。

R1.6.21

大相撲の継承発展を考へる有識者会議

毎日記事なし



「大相撲の継承発展を考える有識者会議」に臨む王貞治プロ野球ソフトバンク球団会長(左端)、歌舞伎俳優の松本白鸚氏(左から2人目)、日本相撲協会の八角理事長(右から2人目)ら=21日、東京・両国国技館

時事通信

王貞治氏ら継承発展を議論 = 有識者会議スタート - 大相撲

2019年06月21日19時44分

日本相撲協会が設置した「大相撲の継承発展を考える有識者会議」の第1回会合が21日、東京・両国国技館で開かれた。大相撲の国際化が進む中で伝統をどうやって守るか、協会独自の自己規律はどうあるべきかを議論し、来秋に協会へ提言書などをまとめる予定。

委員の王貞治プロ野球ソフトバンク球団会長は「小さいときから相撲を見に行っている。相撲への思いは他の人より強いんじゃないかと思う」と意欲的に話した。委員長の山内昌之東大名誉教授は「新しい時代の相撲のあり方を皆さんと議論していきたい」と方針を示した。少子化に伴う力士数の減少を危惧する声も出たという。

今後は3か月に1度の割合で会議を開く予定で、委員が本場所や相撲部屋での稽古を見学する計画もある。

<テレビ>

6/21 18:52 日本テレビ「ニュースワイド」

6/21 17:23~24 TBSテレビ「Nスタ」

6/22 深夜 FNN Live News α

ともに映像は頭撮りのみ ナレーション原稿

大相撲の継承発展 王貞治氏らが議論

有識者会議初会合

日本相撲協会に設置された「大相撲の継承発展を考える有識者会議」の第1回会合が21日、東京都墨田区の両国国技館で開かれ、少子化時代における新弟子確保や外国出身力士増加など国際化に伴う対応策を検討課題にする確認された。プロ野球ソフトバンク球団会長の王貞治氏や女優の紺野美沙子さんら8人全員が出席した。王氏は「相撲というのは日本人にとって小さい時からずっと自分の生活の中に入っている。その相撲が相撲の現実に触れ、物事を考

われるのはうれしいことではない」と国技発展を願った。今後、3か月に1度のペースで会合を開く。本場所や稽古の見学も実施し、来秋をめどに提言書と自己規律指針をまとめる予定。山内昌之委員長(東大名誉教授)は「力士の稽古などを通して厳しい相撲の現実に触れ、物事を考

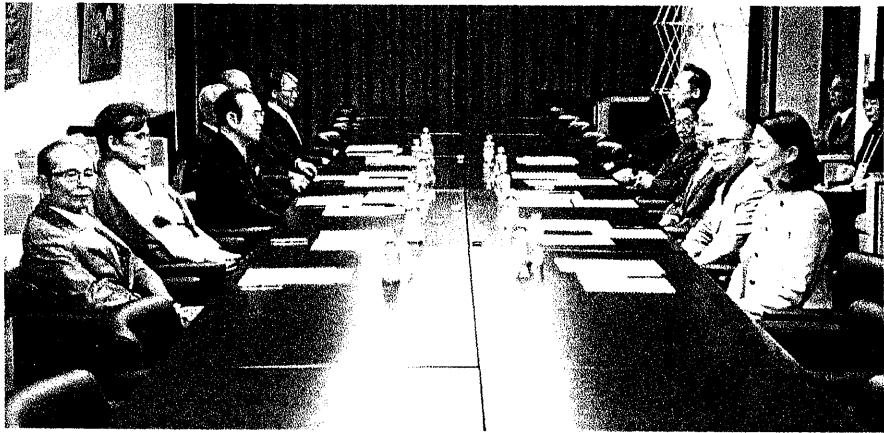
える手掛かりを得たい」と述べた。会議は八角理事長(元横綱北勝海)の諮問機関。相撲協会は暴力問題など不祥事が続き、暴力問題再発防止検討委員会から外国出身力士に対する指導の在り方などについて、外部有識者による協議を要請されていた。

相撲協会の有識者会議、初会合

王貞治氏ら継承発展に議論

2019/6/21 20:11 (JST)

©一般社団法人共同通信社



「大相撲の継承発展を考える有識者会議」の第1回会合=21日、東京都墨田区の両国国技館

日本相撲協会に設置された「大相撲の継承発展を考える有識者会議」の第1回会合が21日、東京都墨田区の両国国技館で開かれ、少子化時代における新弟子確保や外国出身力士増加など国際化に伴う対応策を検討課題にすると確認した。プロ野球ソフトバンク球団会長の王貞治氏や女優の紺野美沙子さんら8人全員が出席した。

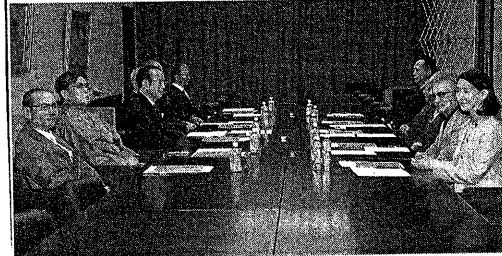
議論は2時間以上に及び、王氏は「相撲というのは日本人にとって小さい時からずっと自分の生活の中に入っている。その相撲が（不祥事などで）あれこれ言われるのはうれしいことではない」と国技発展を願った。

今後、3カ月に1度のペースで会合を開催する。

王さん「しんどい稽古を」

松本白鷺らと大相撲有識者会議

「大相撲の継承発展を考える有識者会議」の第1回会合が21日、東京・両国国技館で行われた。プロ野球ソフトバンク会長の王貞治氏、歌舞伎俳優の松本白鷺、女優の紺野美沙子ら8人の有識者全員が出席した。昨年、暴力問題再発防止検討委員会から、外国出身力士への指導などについて外部有識者による協議を要請さ



第1回「大相撲の継承発展を考える有識者会議」に出席した王貞治氏(左)、松本白鷺(左から2人目)、紺野美沙子(右手前)

れ、八角理事長（元横綱北勝海）の諮問機関として設置。今後は3カ月に1度程度で会合を開き、稽古見学や本場所観戦などを行い、来秋をメドに提言書と自己規律指針をまとめる計画。王氏は「今まで以上に、しんどい稽古をやれば勝つ（優勝する）チャンスがあると思うてやってほしい」と努力の人らしく、力士の努力が継承発展につながることを期待していた。

会合終了後、紺野氏は取材に応じ「想像していたより大変そうです。有識者会議で決めなくてはいけないことが、あまりにも大きくてどこまで貢献できるか。正直、責任の重さと不安を感じています」と引き締まった表情で話した。ただ、周囲のメンバーが必ずしも角界に精通しているわけではないこともあり「いろいろな違った世界の方がいますが、必ずしも相撲にお詳しいわけではない。逆に新しい視点、広い視野で相撲を俯瞰（ふかん）できると嬉しいです。どんな意見が出るか楽しみです」と話した。今後は会議だけではなく、本場所総見、稽古場総見、稽古場見学などを行うことも会合で出され「横審の（稽古）総見にも参加出来るようで“やったー”って感じです」と笑みを浮かべながら話していた。

相撲協会初の「有識者会議」

有識者会議に出席したプロ野球ソフトバンクの王会長。角界の改革に役買う



昔は通じたことがいまは通らない

王氏力士に規律求める

日本相撲協会は21日、東京都墨田区の両国国技館で5月末の理事会で新たに設置された「大相撲の継承発展を考える有識者会議」の第1回会合を開いた。同会議は国際化が進むなかでの国技発展へ提言を求め、協会運営に関する自己規律指針の

作成を諮問するもので、八角理事長(56)と元横綱北勝海(79)の諮問機関となる。3カ月に1度開催

各分野の達者、達人が土俵の将来を見立てる。そんな第1回会合が開かれた。この日は、プロ野球ソフトバンクの王貞治球団会長(79)や女優の紺野美沙子(58)らメンバー8人のほか八角理事長、

芝田山広報部長(元横綱大乃国)も出席した。この有識者会議は暴力問題など不祥事が続き、暴力問題再発防止検討委員会から外国出身力士に対する指導の在り方などについて、外部有識者による協議の要請を受けて設置された。また、協会は国の健全運営の指針と自己規律を求める「ガバナンスコード」の対象外にあるが、コードを尊重した組織運営をはかることも目的としている。

墨田区生まれの王氏はかつて隣接する台東区にあった蔵前国技館でよく相撲をみていたという。「昔はそれで通じたことが、いまは通らなくなっている。いまの人たちは大変だと思っている。その時代に生きていくことを理解し、自分だけの問題ではないと考えてほしい」と自己規律を求める一方、「みなさん(世間)のことを気にしないようになっちゃおう」と力士への心遣いもみせた。

会議は3カ月に1度開かれ、協会の諮問機関、横綱審議委員会のように本場所総見、部屋への視察なども計画する。(奥村展也)

王貞治ら大相撲の継承発展を考える

国技館で「有識者会議」

日本相撲協会は21日、東京・両国国技館で「大相撲の継承発展を考える有識者会議」の初会合を開き、プロ野球ソフトバンクの王貞治会長、歌舞伎俳優の松本白鷺ら出席した。議題は国際化への対応、少子化での人材育成、神事でもある相撲道と調和する自己規律など多岐にわたった。



昭和の大横綱・大鵬さんと親交のあった王氏は「相撲は日本人にとっては生活の中に入っているもの」と伝統文化の奥深さを強調。さらに「来場所はあいつ(幕内・朝乃山)がやったんだから俺も」

「大相撲の継承発展を考える有識者会議」の第1回会合に出席した王貞治氏ら8人が議論

大相撲の継承発展を考える有識者会議

日本相撲協会に設置された「大相撲の継承発展を考える有識者会議」の第1回会合が21日、東京・両国国技館で開かれ、プロ野球ソフトバンクの王貞治会長らが国際化が進む中で国技を発展させていくための意見を出し合った。王会長は、外国出身力士が台頭している中、夏場所朝乃山が初優勝したことを例に出し「あいつがやった

大相撲 継承発展考える会

王貞治さんら出席 継承発展考える会 日本相撲協会が設置した「大相撲の継承発展を考える有識者会議」の第1回会合が21日、東京・両国国技館で開かれた。大相撲の国際化が進む中で伝統をどうやって守るか、協会独自の自己規律はどうあるべきかを議論し、来秋に協会へ提言書などをまとめる予定。

王貞治さんら出席 継承発展考える会

日本相撲協会が設置した「大相撲の継承発展を考える有識者会議」の第1回会合が21日、東京・両国国技館で開かれた。大相撲の国際化が進む中で伝統をどうやって守るか、協会独自の自己規律はどうあるべきかを議論し、来秋に協会へ提言書などをまとめる予定。

大相撲 継承発展考える会

王貞治さんら出席 継承発展考える会 日本相撲協会が設置した「大相撲の継承発展を考える有識者会議」の第1回会合が21日、東京・両国国技館で開かれた。大相撲の国際化が進む中で伝統をどうやって守るか、協会独自の自己規律はどうあるべきかを議論し、来秋に協会へ提言書などをまとめる予定。

王貞治氏ら 8人が議論

「大相撲の継承発展を考える有識者会議」の第1回会合に出席した王貞治氏ら8人が議論

大相撲の継承発展を考える有識者会議

「大相撲の継承発展を考える有識者会議」の第1回会合に出席した王貞治氏ら8人が議論